

特許 & 技術レポート

河 合同特許法律事務所/SEOUL TECHNO R&C CO., LTD.

2013-12

.....

ハイライト：

BORYUNG製業、ノバルティスのグリベック組成物特許の無効訴訟で勝訴	2
画像デザインの特許出願急増	2
「フラッシュメモリのエラー訂正技術」の特許出願増加	3
フレキシブルディスプレイの第1ラウンドは失敗…新たな需要先の発掘が必要	3
ギャラクシーS5に虹彩認識を搭載？サムスン、虹彩認識機能の特許を出願	3
唐津市、全国で初めて飲食物廃水の資源化に対する基幹技術特許を取得	4



特許判例

大法院2013. 2. 15. 宣告2012HU3343判決【拒絶決定(デ)】
【公2013上、516】


【判示事項】


[1]一つの物品のうち、物理的に離れている二つ以上の部分に関するデザインがデザイン保護法第11条第1項で定めている「1デザイン」に該当し、1デザイン登録出願としてデザイン登録を受けることができる場合

[2]特許庁審査官が携帯電話ケースを対象物品として「



」のような斜視図において、灰色で表現されたケー

スの本体部分を除いた対象物品の上部の「」部分と、

下端の裏面に突出した「」部分のみの保護を受けようとする部分デザインとして出願された甲の出願デザインについて、デザイン保護法第11条第1項の規定に違背すると

いう理由で登録拒絶決定を下した事案で、諸般事情に鑑みて、上記出願デザインはデザイン保護法第11条第1項で規定している「1デザイン」に該当するという理由で、これと異にした原審判決に法理を誤解した違法があったとした事例。


【判決要旨】

[1]一つの物品のうち、物理的に離れている二つ以上の部分に関するデザインであっても、それらの間に形態的もしくは機能的に一体性があり、見る人にその全体が一体として視覚を通じた美感を生じさせれば、そのデザインはデザイン保護法第11条第1項で規定している「1デザイン」に該当するため、1デザイン登録出願としてデザイン登録を受けることができる。

[2]特許庁審査官が携帯電話ケースを対象物品として「







」のような斜視図において灰色で表現されたケース

の本体部分を除いた対象物品の上部の「」部分と、

下端の裏面に突出した「」部分のみの保護を受けようとする部分デザインとして出願された甲の出願デザインに

ついて、一つの出願に2以上の形状・模様・色彩またはその結合を表現したものであって、デザイン保護法第11条第1項の規定に違背するという理由で登録拒絶決定を下した事案で、

諸般事情に鑑みて、上記出願デザインは、「」部分と「」部分が物理的に離れていても、これを見る人が「」部分は「ウサギの耳」と、「」部分は「ウサギの尾」と夫々認識できるので、それらに形態的に一体性が認められ、そのため、これを見る人に全体が「ウサギの形状」と類似する一体として視覚を通じた美感を生じさせ、従って、上記出願デザインはデザイン保護法第11条第1項で規定している「1デザイン」に該当するという理由で、これと異にした原審判決に法理を誤解した違法があるとした事例。

【参照条文】

[1] デザイン保護法第11条第1項

[2] デザイン保護法第11条第1項

紛争

BORYUNG製薬、ノバルティスのグリベック組成物特許の無効訴訟で勝訴

ノバルティスの白血病治療剤「グリベック」の組成物特許に関する無効訴訟で、BORYUNG製薬が勝訴した。

BORYUNG製薬は11月30日、慢性骨髄性白血病治療剤「グリベック」(成分名：イマチニブメシル酸塩)の高容量製品に関する組成物特許について、特許権者であるノバルティス社との特許無効訴訟(特許法院)で勝訴したことを明らかにした。

これによって、BORYUNG製薬は特許存続期間が2023年4月までのこの組成物特許について、今年初めに特許審判院で特許無効の審決を得たことに続き、特許法院の判決でも無効決定を得た。

イマチニブの高容量特許が無効となったことによって、既存の100mg錠剤の製品だけでなく、200mg及び400mgの高容量錠剤で許可を受けたジェネリック製品が、慢性骨髄性白血病治療剤の市場に安定的に供給できるようになった。

現在、BORYUNG製薬を含む鍾根堂、DONGA製薬等15社でグリベックのジェネリック製品を開発して許可を受けている。慢性骨髄性白血病治療剤の分野でイマチニブを活性成分とする医薬品市場は、ジェネリック医薬品の発売による薬価引下げにもかかわらず、850億ウォン台の市場を形成している。

グリベックのもう一つの適応症である消化管間質腫瘍

(GIST)の治療用途に関する特許についても、BORYUNG製薬等韓国の製薬会社7社が特許権者であるノバルティスを相手に無効審判を行っている。

BORYUNG製薬は、2005年以降多国籍製薬会社との特許訴訟に全て勝訴したことによって、特許訴訟の勝率100%を維持している。

特に、▲オキサリプラチンの液状製剤(製品名：Eloxatin)、▲初期乳がん治療剤であるアナストロゾール(製品名：アリミデックス)、▲ドセタキセル三水和物(製品名：タキソテール)、▲イマチニブの高容量錠剤(製品名：グリベック)に関する特許を無効化させることによって、主力分野である抗癌剤の部分で攻撃的な特許戦略を繰り広げている。

BORYUNG製薬は、「グリベックの高含量錠剤に対する特許審判院の無効審決に続き、今回の特許法院の無効判決により、グリベックのジェネリック製品を販売している韓国の製薬会社は、より安定的に良質で安価な慢性骨髄性白血病治療剤を供給できるようになった」と述べた。

出願動向

画像デザインの特許出願急増

昨年、サムスンとアップル間のスマートフォンに関する侵害訴訟で、アプリケーションのアイコンデザインが主要イシューの一つとして浮上り、関連業界を中心に「画像デザイン」の特許出願が急増したことが分かった。

特許庁によると、画像デザイン全体の出願件数は、今年9月末を基準に1,784件で、昨年同期(1,159件)に比べ54%増加した。

特に、2012年には1,732件と前年(774件)に対して123%増加しており、最近5年間の平均増加率17%に比べ、急増する傾向にある。

画像デザインとは、従前の一般のデザイン権利とは異なり、コンピュータ・ゲーム機・携帯電話・TV等のディスプレイ部に表示されるGUI(グラフィックユーザーインターフェース)・スクリーンセーバー・アプリケーションのアイコン・グラフィックイメージ等をデザイン権利として認める特別な制度で、2003年に初めて導入された。

制度の施行以降今年9月まで画像デザインの特許を出願した計9,971件を物品群別に見ると、△モニタ・TV・ナビゲーション等の音声及び映像機器類5,496件(55.1%)、△ノートパソコン・PDA等携帯用端末機器類2,273件(22.8%)、△携帯電話等通信機械類1,511件(15.2%)等となる。

企業別に見ると、アップルと熾烈な訴訟合戦を繰り広げているサムスン電子の出願が1,740件と最も多く、その後について、△マイクロソフト(1,050件)△アップル(762件)△LG電子(371件)△SKテレシス(152件)△NAVER(113件)の順となる。

「フラッシュメモリのエラー訂正技術」の特許出願増加

これまで各種スマート機器のフラッシュメモリのエラーにより情報が一瞬で消えてしまう問題があったが、今後は減ることが予想される。

特許庁は、最近5年間でフラッシュメモリのエラー訂正技術に関する特許出願が増加し続けていることを明らかにした。

特許庁によると、2011年を基準に前後2年間の出願を比較したとき、2009年から2010年までの出願は39件であったが、2011年から2012年には73件が出願され、約2倍増加した。

フラッシュメモリ技術は、「小型化」や「大容量化」が急速に進むと共に、エラー発生頻度も共に高くなるという問題を抱えていた。これは、まるで小空間に多くの物を積載したとき、破損の危険が高くなる現象と同じである。

このため、フラッシュメモリのエラー訂正に対する技術の重要性がさらに大きくなり、最近では自動でエラーを検出した後に訂正まで可能な技術が出願されている。

現在、SandiskやTranscend等のようなフラッシュメモリのパッケージ製品のメーカーだけでなく、サムスン、ハイニックス、LG電子、東芝等フラッシュメモリチップのメーカーでも、高性能、高信頼性を有する新たなエラー訂正技術を開発及び適用しており、このようなスマート機器のユーザーの不便さや不満が大きく減るであろうと予想される。

特許庁の関係者は、「今後、フラッシュメモリの適用分野がさらに拡大されることが予想され、エラー訂正技術の活用がさらに増加するであろう」とし、「使用中に起こり得るエラーを自動的に訂正処理すると同時に、長期間の使用にも耐久性が遥かに向上した対処技術に関する技術開発と共に出願が増加するであろう」と述べた。

電子・半導体

フレキシブルディスプレイの第1ラウンドは失敗…新たな需要先の発掘が必要

フレキシブルスマートフォンに対する市場の反応が期待通りに行かず、ディスプレイ業界が事業戦略を全面修正する

雰囲気である。曲がってよく壊れない点が魅力的な要素になるであろうと信じていた業界は、研究開発(R&D)と量産の投資戦略を原点から再度検討している。

11月25日業界によると、韓国のディスプレイメーカーは、来年のフレキシブルディスプレイに対する量産投資をできるだけ慎重に行うと共に、新たな需要先の発掘に注力する計画である。

サムスンディスプレイとLGディスプレイは、差し当たり歩留まりの問題はあるものの、段階的に生産能力を拡大する計画であった。

サムスンディスプレイは、当初、一般(rigide)とフレキシブル兼用のラインを需要に応じてフレキシブル専用のラインに活用すると共に、A2ラインに追加増設する案も持っていた。新規ラインのA3もまた、フレキシブルディスプレイを優先生産する案を検討していた。LGディスプレイも、低温ポリシリコン(LTPS)のラインの拡張により、フレキシブルディスプレイの生産能力を増やすことができる体制を備えた状況である。

しかし、フレキシブルスマートフォンが、数量限定で生産した物量さえ売れず、追加投資の計画は不透明になった。

サムスンディスプレイは、投入原板基準で5.5世代(1300mm×1500mm)月8000枚の設備を備えており、LGディスプレイは4.5世代(730mm×920mm)月1万2000枚を生産することができる。両社とも歩留まりが50%未満だとしても、月数万台程度は作ることができる水準である。2世代フレキシブルディスプレイの研究と、1世代製品の生産が同時にいくらかでも可能であるというわけである。

フレキシブルスマートフォンに対する市場の反応が冷ややかなだけに、投資拡大に対する期待も一蹴した。これに伴って、サムスン・LGの内部では、フレキシブルディスプレイの最初の需要先の対象が間違っていたという分析も出ている。軽くて壊れずデザインの自由度を高めることができる2世代フレキシブルディスプレイの需要先は、スマートフォンではない他の機器となる可能性があるという意味である。また、フレキシブルディスプレイを装着したアップルのiWatchが来年発売されることが分かり、第3のアプリケーションは何になるか関心が集まっている。

業界の関係者は、「むしろ歩留まりや価格問題のために販売が低調なのであれば、これを改善するのに最善を尽くせば良いだけだが、今後の行く末がさらに不透明である」とし、「フレキシブルディスプレイが次世代の需要先を探すために、新たなデザインやアプリケーションを開拓するのにさらに注力している状況である」と述べた。

ギャラクシーS5に虹彩認識を搭載？サムスン、虹彩認識機能の特許を出願

サムスン電子が来年発売する「ギャラクシーS5」或いはギャラクシーノート4に虹彩認識機能が搭載されるか。

韓国特許庁が運営する特許情報ネットKiprisによると、サムスン電子は昨年5月に「虹彩認識及び近接センシング可能な端末装置及び方法」を発明の名称とする特許(出願番号10-2012-0047311)を出願した。

サムスン電子は、特許出願書で「虹彩認識は、人ごとにそれぞれ異なる虹彩の特性を情報化し、これを保安用認証技術に応用したもの」とし、「虹彩は指紋より多い固有のパターンを有しており、虹彩認識は非接触方式であるため拒否感がなく、メガネやコンタクトレンズを着用していても、正確に人を識別することができるというメリットがある」としている。

また、「東洋人の目にはメラニン色素が少なく、虹彩の認識率を高めるためには、赤外線照明を別に搭載しなければならなかった」とし、「この発明は、赤外線照明の代わりに端末機に内蔵した近接センサを用いて、虹彩の認識率を高めることができる方法を提供する」と説明している。

先立って、ギャラクシーS5に虹彩認識技術が搭載されるであろうという予想が出ているだけに、業界では実際にこの技術を用いた虹彩認識スマートフォンが発売されるか注目している。GSMarenaは、「ギャラクシーS5に虹彩認識機能が支援される場合、iPhone5SやHTCのOne Max等、指紋認識機能が適用された製品よりはるかに高い水準の保安が可能になるであろう」と予想している。

これに対して、サムスン電子の関係者は、「この技術が実際に商用化されるかについて該当事業部ではまだ決定していない」として、拡大解釈を警戒している。

化学・金属・生命工学

唐津市、全国で初めて飲食物廃水の資源化に対する基幹技術特許を取得

韓国忠清南道唐津市は、公務員のアイデアと努力で発明した「飲食物類廃棄物の廃水を用いた代替炭素源の製造方法」に関する特許権を取得したことを明らかにした。

今回特許決定となった「飲食物類廃棄物の廃水を用いた代替炭素源の製造方法」は、廃水を自己発酵させて、微生物を多量に含んだ有機炭素源として作り、製鉄工場の廃水浄化剤に代わる方法で、環境汚染も防止し、廃水の廃棄物処理のための莫大な費用も節減することができる画期的な技術として評価されている。

これに関して、唐津市は4月10日、現代製鉄(株)と「有機酸の供給及び使用に関する契約」を締結し、有機炭素源を供給している。

これは、現代製鉄(株)のみならず、窒素除去のために有機炭素源が不足している石油化学団地や精油工場等の廃水処理場にも適用可能であることが確認されたことで、今後使用先が拡大されることが予想される。

今回の特許により、高濃度で処理し難い廃水を捨てずに資源化することによって、唐津市は毎年9億ウォン余りの廃水処理費を、現代製鉄(株)は毎年6億ウォン余りのメタノールの購入費用を節減することができるだけでなく、通常実施権の契約で全国の自治体に供給を拡大すれば、特許使用料もまた唐津市の財源になり得るであろうと期待している。

イ・チョルファン市長は、「唐津市の公務員の創意的なアイデアで、韓国で初めて廃水の資源化方法に関する権利獲得を通じた税外収入の増大が期待されている」とし、「今回の特許は、2013年の廃水の海洋投棄禁止によって、廃水処理に困難を抱えている自治体に新たな陸上処理の新工法を提示したということに意義がある」と述べた。

韓国における知的財産問題でお悩みですか 新しい選択、HA&HAにお任せ下さい。

(調査・特許・実用新案・デザイン・商標の出願及び登録、著作権、電子商取引、
インターネット上の権利、コンピュータープログラム、侵害訴訟及び各種紛争)

河 合同特許法律事務所

ソウル市瑞草区Juheung 3-Gil 1 栄和B/D(盤浦洞)
Tel : +82-2-548-1609
Fax : +82-2-548-9555, 511-3405
E-mail : haandha@haandha.co.kr
Website : http://haandha.co.kr

SEOUL TECHNO R&C CO., LTD.

ソウル市瑞草区Juheung 3-Gil 1 栄和B/D(盤浦洞)
Tel : +82-2-3443-8434
Fax : +82-2-3443-8436
E-mail : st@stpat.co.kr